

主要産地における令和2年産水稻の生育状況等について 第12報 (8月4日取り纏め)

作成：公益社団法人米穀安定供給確保支援機構情報部 (令和2年8月5日)

道府県	区分	生育状況等		(参考)
		育苗・田植進行状況・生育状況等 (自治体等公表資料の抜粋) 平年に対する遅速等	技術・防除・気象等関連公表資料 (自治体、気象台等公表資料の抜粋)	
北海道	(生育)	<p>【生育状況 (8月1日現在)】</p> <p>(全道) 生育は、平年並に進んでいる。(北海道農政部 8月4日付)</p> <p>(空知) 生育は平年並である。出穂期：7月27日。(空知総合振興局 8月4日付)</p> <p>(石狩) 出穂は平年並に推移している。(石狩振興局 8月4日付)</p> <p>(後志) 遅速は早1日。出穂期：7月28日。(後志総合振興局 8月4日付)</p> <p>(胆振) 生育は平年並。(胆振総合振興局 8月4日付)</p> <p>(日高) 生育は平年並である。(日高総合振興局 8月4日付)</p> <p>(渡島) 生育は概ね順調であるが、曇天により出穂がやや遅延している。出穂期：8月1日。(渡島総合振興局 8月4日付)</p> <p>(檜山) 生育は概ね平年並で推移。出穂始：7月26日。(檜山振興局 8月4日付)</p> <p>(上川) 生育の遅速は、平年並に推移している。出穂期：7月24日。(上川総合振興局 8月4日付)</p> <p>(留萌) 遅速は少ないが、生育は平年並に進んでいる。(留萌振興局 8月4日付)</p> <p>(オホーツク) 7月中下旬の低温寡照により、出穂はやや遅れたが、生育は平年並である。出穂期：7月26日。(オホーツク総合振興局 8月4日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 8月1日～8月31日】</p> <p>北海道地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量は平年並並多く、日照時間は平年並並少ない見込み。(気象庁札幌管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 8月～10月】</p> <p>北海道地方の向こう3か月の平均気温は平年並並高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁札幌管区気象台)</p>	<p>主要品種に大きな変動はないものの、産地毎に違った新品種「みままる」が増加すると見込まれる。</p> <p>(農林水産省 3月17日)</p> <p>(以下同じ)</p>
青森	(生育)	<p>【7月31日現在】</p> <p>・7月31日現在の水稻出穂状況は、県全体で1%となっており、平年より2ポイント低かった。</p> <p>(青森県 8月3日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 8月1日～8月31日】</p> <p>東北地方の向こう1か月の気温は高い見込み。降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台)</p> <p>【高温に関する早期天候情報】</p> <p>8月10日ごろからかなりの高温の可能性。</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 8月～10月】</p> <p>東北地方の向こう3か月の気温は平年並並高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台)</p>	<p>「つがるロマン」「まっしくら」の2品種で9割を占める品種構成で、近年収量水準の高い「まっしくら」が増加傾向にあり、令和2年産も同様の傾向になるものと考えられる。</p>
岩手	(生育)	<p>【7月27日現在】</p> <p>(1) 農業研究センター (北上) 金品種と、草丈は平年より長く、茎数は平年並並多く、葉数は平年よりやや少なく、葉色は平年よりやや濃くなっている。また、「あきたこまち」は7月25日 (平年より2日遅い) に、減数分裂期に達した。</p> <p>(2) 東北農業研究所 (軽米) 「いわてっこ」では、草丈、葉数は平年並、茎数は平年より少なく、葉色は平年よりやや濃くなっている。また、7月25日 (平年より3日遅い) に減数分裂期に達した。</p> <p>(岩手県農業研究センター 7月28日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 8月1日～8月31日】</p> <p>東北地方の向こう1か月の気温は高い見込み。降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台)</p> <p>【高温に関する早期天候情報】</p> <p>8月10日ごろからかなりの高温の可能性。</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 8月～10月】</p> <p>東北地方の向こう3か月の気温は平年並並高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台)</p>	<p>「ひとめぼれ」及び「あきたこまち」を中心とする品種構成となっており、「つや姫」が増加傾向にある。</p>
宮城	(生育)	<p>【7月20日現在】 (県全体の平均)</p> <p>・草丈は 70.6cm (平年比100%)、1㎡当たりの茎数は509本 (平年比97%)、葉数は11.7枚 (平年差-0.3枚)、葉色はGMI値が38.1 (平年差3.0) となっている。幼穂長は26.2mm (平年差-32.7mm) となっており、幼穂形成期は7月9日頃で生育は概ね順調である。</p> <p>・今後の気温が平年並並で推移した場合、北部平原地帯における出穂期は8月2日頃になる見込み。(宮城県 7月21日付)</p> <p>【7月20日現在】 (大河原) 生育は停滯気味、南部平坦の中生品種の出穂期は平年 (7月31日) よりも2日程度、前年 (8月1日) より1日程度遅い見込み。</p> <p>(仙台) 草丈・茎数とも一部の品種を除き前年を上回る状況。調査結果からは7月中旬の低温による生育の停滞は見られない。(仙台農業改良普及センター 7月21日付)</p> <p>(大崎) 草丈と茎数は平年並並～やや上回ったが、生育がやや停滞したため葉数が平年よりやや少なく、葉色は濃い傾向。(大崎農業改良普及センター 7月21日付)</p> <p>(美里) 低温と日照不足の影響で生育は停滞傾向。(美里農業改良普及センター 7月21日付)</p> <p>(栗原) 生育調査係 (移植) 生育状況 (7月10日現在) 草丈：平年並、茎数：やや少ない、葉色：濃い、葉数・幼穂長：平年より少ない (栗原農業改良普及センター 7月22日付)</p> <p>(石巻) 草丈は平年並、茎数は「ひとめぼれ」では平年並、(「ササニシキ」では平年より少なくなっている。葉色 (SPAD値) は平年より濃くなっている。平年に比べて幼穂の伸長はやや遅れている。(石巻農業改良普及センター 7月22日付)</p> <p>(気仙沼) 管内の生育調査係においては、葉数は前年並、茎数は前年並並からやや多くなっており、生育は順調に進んでいる。(気仙沼農業改良普及センター 7月20日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 8月1日～8月31日】</p> <p>東北地方の向こう1か月の気温は高い見込み。降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台)</p> <p>【高温に関する早期天候情報】</p> <p>8月10日ごろからかなりの高温の可能性。</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 8月～10月】</p> <p>東北地方の向こう3か月の気温は平年並並高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台)</p>	<p>「ひとめぼれ」を中心とする品種構成となっており、「つや姫」が増加傾向となっている。「駒えみのり」「たて正幸」はやや増加傾向にある。</p>
秋田	(生育)	<p>(秋田) 7月22日時点での生育は、草丈、茎数、葉数ともほぼ平年並並で推移。出穂期にさしかかっている園場が一部みられる。(8月3日付)</p> <p>(山本) 減数分裂期を迎え、生育の早い園場では走り穂が見られる。(7月31日付)</p> <p>(雄勝) 田植えが比較的早く始まった園場では出穂している。(7月31日付)</p> <p>(鹿角) 6月25日の水稻生育定点調査では、草丈39.4cmで長く (平年比105%)、㎡当たり茎数は491本で多く (平年比127%)、葉数は9.0葉でやや多く (平年差+0.2)、葉色はSPAD値43.4で薄い (平年比95%)。(7月3日付)</p> <p>(北秋田) 6月下旬以降、日気温差が小さい日が続き、茎数増加が抑制され生育は平年並並。</p> <p>(由利) 病害虫の目立った発生は見られていない。(7月10日付)</p> <p>(平鹿) 7月15日現在の水稻生育定点調査 (あきたこまち11か所) では、草丈67.3cm (平年比106%)、茎数526本/㎡ (同比102%)、葉数11.0葉 (同差+0.1葉) となっている。(7月17日付)</p> <p>(秋田県農林政策課)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 8月1日～8月31日】</p> <p>東北地方の向こう1か月の気温は高い見込み。降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台)</p> <p>【高温に関する早期天候情報】</p> <p>8月10日ごろからかなりの高温の可能性。</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 8月～10月】</p> <p>東北地方の向こう3か月の気温は平年並並高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台)</p>	<p>「あきたこまち」を中心とする品種構成に大きな変化はないものの、「めいめい」「ゆめぼこ」等の多収性品種が増加傾向となり、一定のウエイトを占めてきた。</p>
山形	(生育)	<p>(南東置戸) 早生～中生品種の出穂が始まっている。(置戸総合支庁農業技術普及課 7月30日付)</p> <p>(酒田臨海) 7月29日現在の出穂予想は、生育診断用「はえぬき」で8月3日頃 (平年8月4日)、「つや姫」で8月10日頃 (平年8月10日)、「雪若丸」で8月3日頃 (平年8月4日) と見込まれる。(酒田農業技術普及課 7月30日付)</p> <p>【7月20日現在】</p> <p>・平埠部では「はえぬき」の生育は、草丈、茎数、葉数は平年並並、葉色は、平年よりやや遅い状況となっている。</p> <p>・農業総合研究センターの幼穂調査によると、出穂期は概ね平年並並と予想している。低温・日照不足の影響が懸念される。</p> <p>・「つや姫」の生育は、草丈、茎数、葉数は平年並並、葉色は、平年より濃い状況となっている。予想出穂期は、農業総合研究センター (山形市のりが丘) では8月7日頃 (平年8月7日)、水田農業研究所 (鶴岡市藤島) では8月9日頃 (平年8月10日) であり、概ね平年並並と見込まれている。</p> <p>・「雪若丸」の生育は、指標値と比べ、草丈・葉数は並み、茎数は多く、葉色は濃い状況となっている。</p> <p>・出穂は、農業総合研究センター (山形市のりが丘) で8月3日頃 (平年8月2日)、水田農業研究所 (鶴岡市藤島) で8月3日頃 (平年8月2日) と概ね平年並の見込み。(山形おいしさ際立つ！米づくりプロジェクト本部 7月20日付)</p> <p>(北村山) 平埠部の出穂期は平年並並の見込み。「はえぬき」8月6～10日頃、「つや姫」8月9～13日頃、「雪若丸」8月5～8日頃。(村山総合支庁北村山農業技術普及課 7月22日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 8月1日～8月31日】</p> <p>東北地方の向こう1か月の気温は高い見込み。降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台)</p> <p>【高温に関する早期天候情報】</p> <p>8月10日ごろからかなりの高温の可能性。</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 8月～10月】</p> <p>東北地方の向こう3か月の気温は平年並並高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台)</p> <p>【注意報】 (いもち病)</p> <p>向こう1か月の天候は、期間のはじめは平年に比べ曇りや雨の日が多いと予想されており、今後、上位葉での発生増加及びいもちの発生が懸念される。(山形県病害虫防除所 7月22日付)</p>	<p>「はえぬき」「つや姫」「ひとめぼれ」を中心とする品種構成となっており、新品種「雪若丸」は増加傾向にある。</p>
福島	(生育)	<p>【7月14日現在】</p> <p>(1) 作況ほ場および肥料・農業展示ほ場の生育状況 (郡山市・JA福島さくら・県で設置している作況ほ場および肥料・農業展示ほ場の生育を各品種ごとに平均した結果)</p> <p>・平埠部では全般的に、草丈はやや長く、茎数はやや少なく、葉色は平年並並の状況にある。また、葉齢は進んでいる。7月14日時点で、ひとめぼれが幼穂形成期となっており、直播や移植時期が遅いもの等では幼穂が未確認。</p> <p>・湖南地区では、草丈はやや長く、茎数はやや少なく、葉色は濃い状況にある。また、葉齢は平年並並で、7月14日時点で幼穂形成期となっている。</p> <p>(2) 福島県農業総合センター生育概況</p> <p>作柄解析試験 (慣行栽培、5月15日移植) では、7月14日現在、草丈は平年並、茎数は平年並並～やや少なく、出葉は平年より3～4日遅み、葉色は平年並。</p> <p>(郡山市農作物生産対策協議会 7月20日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 8月1日～8月31日】</p> <p>東北地方の向こう1か月の気温は高い見込み。降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台)</p> <p>【高温に関する早期天候情報】</p> <p>8月10日ごろからかなりの高温の可能性。</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 8月～10月】</p> <p>東北地方の向こう3か月の気温は平年並並高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台)</p>	<p>「コシヒカリ」「ひとめぼれ」を中心とする品種構成で、近年「天つづか」が増加傾向となっている。</p>

生育状況等			
茨城	<p>【水稲の生育状況（7月20日現在、水戸市）】</p> <p>5月1日移植・対年遅速 「あきたこまち」2日早い、「ふくまる」1日早い、「コシヒカリ」2日遅い。 ・出穂期は、「あきたこまち」が7月14日で平年より2日早く、「ふくまる」が7月16日で平年より1日早かった。 7月20日における「コシヒカリ」の主穂幼穂長は176.4mmで、幼穂長から予測される出穂期は7月27日。 (5月11日移植・対年遅速) 「コシヒカリ」5日遅い。 ・主穂幼穂長は18.7mmで、幼穂長から予測される出穂期は8月5日。(茨城県農業総合センター農業研究所作物研究室 7月22日付)</p> <p>(生育)</p> <p>【水稲の生育状況（7月16日現在、龍ヶ崎市）】</p> <p>(4月24日移植・対年遅速) 「あきたこまち」1日遅い、「ふくまる」1日遅い、「コシヒカリ」2日遅い。 ・出穂期は、「あきたこまち」で7月12日、「ふくまる」で7月16日であり、商品種とも平年より1日遅い。今後気温が平年並に推移した場合、幼穂長から予測される出穂期は、「コシヒカリ」で平年より2日遅い7月24日。 (5月7日移植・対年遅速) 「あきたこまち」6日遅い、「コシヒカリ」7日遅い。 ・今後、気温が平年並に推移した場合、幼穂長から予測される出穂期は、「あきたこまち」で平年より6日遅い7月24日、「コシヒカリ」では平年より7日遅い8月3日。(茨城県農業総合センター農業研究所水田利用研究室 7月20日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 8月1日～8月31日】</p> <p>関東甲信地方の向こう1か月の気温は高い見込み。 降水量と日照時間はほぼ平年並の見込み。(気象庁東京管区気象台)</p> <p>【高温に関する早期天候情報】</p> <p>8月9日ごろからかなりの高温の可能性。</p>	<p>「コシヒカリ」「あきたこまち」を中心とする品種構成となっている。なお、オリジナル品種「ふくまる」がやや増加傾向にある。</p>
栃木	<p>【7月20日生育調査】</p> <p>(1) コシヒカリ ・出穂は平年よりやや遅れる見込みとなっている。</p> <p>(2) とちぎの星 ・草丈はやや高く(平年比104%)、茎数は少なく(91%)、葉齢は平年より0.4少ない。葉色は平年より0.2淡く。生育診断値(葉色×茎数)は平年比86%となっている。なお、葉いもちが確認されている。 (栃木県 7月27日付)</p> <p>(生育)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 8月1日～8月31日】</p> <p>関東甲信地方の向こう1か月の気温は高い見込み。 降水量と日照時間はほぼ平年並の見込み。(気象庁東京管区気象台)</p> <p>【高温に関する早期天候情報】</p> <p>8月9日ごろからかなりの高温の可能性。</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 8月～10月】</p> <p>関東甲信地方の向こう3か月の気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁東京管区気象台)</p>	<p>「コシヒカリ」「あきたこまち」を中心とする品種構成に大きな変化はない。なお、オリジナル品種「とちぎの星」がやや増加傾向にある。</p>
千葉	<p>・7月中旬以降、気温が低く、日照が少なかったため、「ふさおとめ」「ふさこがね」では登熟の遅れ、「コシヒカリ」「粒すけ」では出穂の遅れが生じている。</p> <p>(成熟期)</p> <p>4月20日植え「ふさおとめ」が8月13日頃から、「ふさこがね」は8月20日頃から、「コシヒカリ」は8月26日頃からと予測される。</p> <p>・また「コシヒカリ」は出穂にバラつきが見られる。 (千葉県 7月28日付)</p> <p>(生育)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 8月1日～8月31日】</p> <p>関東甲信地方の向こう1か月の気温は高い見込み。 降水量と日照時間はほぼ平年並の見込み。(気象庁東京管区気象台)</p> <p>【高温に関する早期天候情報】</p> <p>8月9日ごろからかなりの高温の可能性。</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 8月～10月】</p> <p>関東甲信地方の向こう3か月の気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁東京管区気象台)</p>	<p>「コシヒカリ」「ふさこがね」「ふさおとめ」を中心とする品種構成であり、近年「ふさこがね」が増加傾向にある。</p>
新潟	<p>【7月30日現在の生育状況】</p> <p>「コシヒカリ」指標値に比べ、草丈は「やや長い」、茎数と葉数の進みは「遅」の状況。 「新之助」指標値に比べ、草丈と茎数は「並」、葉数の進みは「やや早い」、葉色は「やや濃い」状況。茎数と葉色は地域差が大きい。 (新潟県 7月31日付)</p> <p>(生育)</p> <p>(巻) 「コシヒカリ」草丈：やや長、茎数：並、葉数：並、出穂期：平年並。(巻農業普及指導センター 7月30日付)</p> <p>(新 潟) 「コシヒカリ」ほ場開差が大きく、草丈は「やや長」、茎数、葉数は「並」(新潟農業普及指導センター 7月30日付)</p> <p>(三 条) 「コシヒカリ」出穂期は平年に比べ1日早く8月0日頃と予想(5月10日移植)。(三条農業普及指導センター 7月30日付)</p> <p>(長 岡) 「コシヒカリ」草丈：並、茎数：並、予想出穂期：8月4日(5月10日移植を想定)。(長岡農業普及指導センター 7月30日付)</p> <p>(南魚沼) 「コシヒカリ」出穂期は前年より2日遅く、平年より1日早くなる見込み。(南魚沼農業普及指導センター 7月30日付)</p> <p>(新発田) 「コシヒカリ」草丈：やや長、茎数：やや少、葉数：やや多(新発田農業普及指導センター 7月31日付)</p> <p>(若 船) 「コシヒカリ」草丈：並～やや長、茎数：やや多葉色：並、出穂期：1日程度遅い(村上農業普及指導センター 7月30日付)</p> <p>(柏 崎) 稲葉は日照不足及び多雨により長草・軟弱傾向となっており、倒伏が心配される。(柏崎農業普及指導センター 7月30日付)</p> <p>(十日町) 稲葉は日照不足により草丈が伸び、倒伏が心配される状況。早生品種は、出穂期～穂揃い期となっている。 「コシヒカリ」はまもなく出穂期となる(十日町農業普及指導センターほか 7月30日付)</p> <p>(魚 沼) 指標値に比べ、草丈：並、茎数：並、葉数：並。(魚沼農業普及指導センター 7月30日付)</p> <p>(上 越) 「コシヒカリ」の出穂期は、平年より2日程度早まると予想(5月10～15日の田植では、8月1日頃の見込み)。 (上越農業普及指導センター 7月30日付)</p> <p>(糸魚川) 「コシヒカリ」現時点で穂ばらみ期を迎えたほ場も見られる。全体的に、生育は概ね順調。 現時点の予想では、出穂期は平年並の見込み。(糸魚川地域振興局農林振興部 7月30日付)</p> <p>(佐 渡) 生育は概ね目標値だが、ほ場開差は大きくなっている。(佐渡農業普及指導センター 7月30日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 8月1日～8月31日】</p> <p>北陸地方の向こう1か月の気温は高い見込み。 降水量と日照時間はほぼ平年並の見込み。(気象庁新潟地方気象台)</p> <p>【高温に関する早期天候情報】</p> <p>8月10日ごろからかなりの高温の可能性。</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 8月～10月】</p> <p>北陸地方の向こう3か月の気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁新潟地方気象台)</p>	<p>「コシヒカリ」「こしいふき」を中心とする品種構成で、近年「コシヒカリ」が減少傾向にある。また、県では新品種「新之助」の作付拡大を推奨している。</p>
富山	<p>【7月20日生育観測園】</p> <p>(1) コシヒカリ 平年と比べて、草丈、茎数、葉色、葉齢は並みとなっている。 出穂期は、今後、平年並みの気温で推移した場合、平年並みの8月2日頃と見込まれる。</p> <p>(2) てんこもり 平年と比べて、草丈、葉色は並み、茎数はやや少なく、葉齢は遅れている。 出穂期は、今後、平年並みの気温で推移した場合、平年より1日遅い8月5日頃と見込まれる。</p> <p>(3) てんたかく 5月2日移植の「てんたかく」の出穂期は、平年より4日早い7月16日となった。 成熟期は、今後、平年並みの気温で推移した場合、平年より4日早い8月21日頃と見込まれる。</p> <p>(4) 富富富 近年と比べて、草丈、茎数、葉色は並みとなっている。 今後、気温が平年並みに推移すると、出穂期は、近年より1日遅い8月5日頃と見込まれる (富山県農業技術課 広域普及指導センター 7月20日付)</p> <p>(生育)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 8月1日～8月31日】</p> <p>北陸地方の向こう1か月の気温は高い見込み。 降水量と日照時間はほぼ平年並の見込み。(気象庁新潟地方気象台)</p> <p>【高温に関する早期天候情報】</p> <p>8月10日ごろからかなりの高温の可能性。</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 8月～10月】</p> <p>北陸地方の向こう3か月の気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁新潟地方気象台)</p>	<p>「コシヒカリ」を中心とする品種構成となっているものの、高温条件下でも品質が安定している「てんこもり」「富富富」が増加傾向にある。</p>
石川	<p>【本田の生育7月28日調査】</p> <p>「コシヒカリ」 (出穂期) 加賀地域では7月25日～8月2日と、平年に比べ3日早い～並で、前年に比べ1日早い～4日遅い見込み。 能登地域では7月29日～7月31日と、平年に比べ2～7日早く、前年に比べ2～3日遅い見込み。 (平米あたり茎数) 既に出穂期を迎えている圃場が多いことから、穂数は平年並に確保される見込みである。</p> <p>(生育)</p> <p>「ひやくまん殺」 (出穂期) 加賀地域で8月3日～12日と近年及び前年に比べ2日～6日遅い見込み。 能登地域では8月8日～10日と近年及び前年並～2日遅い見込み。 (平米あたり茎数) 目標穂数(300本/m²)は確保される見込みである。(石川県農林総合研究センター 7月29日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 8月1日～8月31日】</p> <p>北陸地方の向こう1か月の気温は高い見込み。 降水量と日照時間はほぼ平年並の見込み。(気象庁新潟地方気象台)</p> <p>【高温に関する早期天候情報】</p> <p>8月10日ごろからかなりの高温の可能性。</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 8月～10月】</p> <p>北陸地方の向こう3か月の気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁新潟地方気象台)</p>	<p>「コシヒカリ」及び「ひやくまん殺」を中心とする品種構成であるが、近年オリジナル品種の「ひやくまん殺」が増加傾向にある。</p>
福井	<p>・日照不足の影響で稲体は軟弱となり、一部では葉いもちの発生も見られている。 (福井県農業総合指導推進会議 7月15日付)</p> <p>(生育)</p> <p>【7月9日調査】</p> <p>・長雨の影響により、いもち病の発生が見られる。 ・移植のコシヒカリは、早いところで7月10日(午後)に幼穂形成期を迎えている。 (水田農業レベルアップ委員会技術普及部会 7月10日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 8月1日～8月31日】</p> <p>北陸地方の向こう1か月の気温は高い見込み。 降水量と日照時間はほぼ平年並の見込み。(気象庁新潟地方気象台)</p> <p>【高温に関する早期天候情報】</p> <p>8月10日ごろからかなりの高温の可能性。</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 8月～10月】</p> <p>北陸地方の向こう3か月の気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁新潟地方気象台)</p> <p>【注意報】(穂いもち(中晩生)) 発生量は平年、前年より多い。 (福井県農業試験場 7月27日付)</p>	<p>「コシヒカリ」「ハナエチン」を中心とする品種構成であるが、近年「コシヒカリ」が減少傾向、「あきさかり」が増加傾向にある。なお、新品種である「いちほまれ」も増加傾向にある。</p>
長野	<p>・豊科定点圃場では、あきたこまちは7月4日、美山錦は7月3日、コシヒカリは7月14日、風さやかは7月17日に幼穂形成期に入り、平年より2～3日程度遅んでいた。しかし7月中旬以降が低温傾向のため、生育は停滞ぎみになっている。 ・7月16日現在の出穂期予測では、早生品種で平年並み、コシヒカリで3日早いと推定。(松本農業農村支援センター 7月20日付)</p> <p>【標高348m須坂市八重森の農業試験場における水稲生育状況(7月20日現在)】</p> <p>・移植後40日の生育は、いずれの品種もおおむね平年並みとなった。 ・幼穂形成期は「あきたこまち」で平年より2日遅く、「コシヒカリ」で平年並み、「風さやか」で1日早かった。</p> <p>(生育)</p> <p>【標高1017m原村の原村試験場における水稲生育状況(7月20日現在)】</p> <p>・移植後50日調査では、低温、降雨の影響で生育はやや停滞したと思われる。 ・幼穂形成期は「きりりん」、「ゆめしなの」で平年より2日早く、「あきたこまち」で2日遅かった。 (長野県農業試験場 7月20日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 8月1日～8月31日】</p> <p>関東甲信地方の向こう1か月の気温は高い見込み。 降水量と日照時間はほぼ平年並の見込み。(気象庁東京管区気象台)</p> <p>【高温に関する早期天候情報】</p> <p>8月9日ごろからかなりの高温の可能性。</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 8月～10月】</p> <p>関東甲信地方の向こう3か月の気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁東京管区気象台)</p>	<p>「コシヒカリ」「あきたこまち」を中心とする品種構成に大きな変化はない。県オリジナル品種として「風さやか」の導入を推進している。</p>

生育状況等			
滋賀	<p>【農業技術振興センター水稲作況調査（7月20日時点）】</p> <p>（5月11日移植）</p> <p>・「みずかがみ」「コシヒカリ」とも草丈は平年並、茎数は少ない。</p> <p>（生育）</p> <p>・「みずかがみ」の出穂期は、7月上旬～中旬の気温が低く、平年より2日遅い7月24日頃の見込み。</p> <p>（滋賀県農業技術振興センター 7月22日付）</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 8月1日～8月31日】</p> <p>近畿地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量は日本海側で、ほぼ平年並、太平洋側で平年並か少ない見込み。日照時間は、ほぼ平年並の見込み。（気象庁大阪管区気象台）</p> <p>【高温に関する早期天候情報】</p> <p>8月9日ごろからかなりの高温の可能性。</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 8月～10月】</p> <p>近畿地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。（気象庁大阪管区気象台）</p>	<p>「コシヒカリ」「キヌヒカリ」「日本晴」を中心とする品種構成であるが、近年「コシヒカリ」「キヌヒカリ」が減少傾向となっている。高温登熟性に優れた「みずかがみ」を増加する計画である。</p>
兵庫	<p>（県南部）</p> <p>極早生品種の「キヌヒカリ」「どんとこい」では、草丈が平年並～やや短く、茎数はかなり多い。一方、普通期の「ヒノヒカリ」「日本晴」「きぬむすめ」では、草丈は平年に比べてやや短い～平年並み、茎数は「ヒノヒカリ」「日本晴」でかなり少なく、「きぬむすめ」でかなり多い。</p> <p>（生育）</p> <p>（県北部）</p> <p>草丈は平年並で、茎数が非常に少ない。出穂は「コシヒカリ」で平年よりやや早くなる見込みである。</p> <p>（兵庫県 8月4日付）</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 8月1日～8月31日】</p> <p>近畿地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量は日本海側で、ほぼ平年並、太平洋側で平年並か少ない見込み。日照時間は、ほぼ平年並の見込み。（気象庁大阪管区気象台）</p> <p>【高温に関する早期天候情報】</p> <p>8月9日ごろからかなりの高温の可能性。</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 8月～10月】</p> <p>近畿地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。（気象庁大阪管区気象台）</p>	<p>「コシヒカリ」「ヒノヒカリ」「キヌヒカリ」「山田錦」を中心とする品種構成である。「きぬむすめ」の作付推進を図っている。</p>
岡山	<p>（生育）</p> <p>・茎数は概ね平年並で推移している。</p> <p>・極早生種の生育は概ね平年並である。</p> <p>（岡山県 7月2日付）</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 8月1日～8月31日】</p> <p>中国地方の向こう1か月の気温は高い見込み。降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。（気象庁広島地方気象台）</p> <p>【高温に関する早期天候情報】</p> <p>8月9日ごろからかなりの高温の可能性。</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 8月～10月】</p> <p>中国地方の向こう3か月の気温は高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。（気象庁広島地方気象台）</p> <p>【病害虫発生予察注意報】</p> <p>イネいもち病（葉いもち、穂いもち）多い。（岡山県病害虫防除所農林水産省 7月29日付）</p>	<p>「アケボノ」「ヒノヒカリ」「あきたこまち」「コシヒカリ」を中心とする品種構成である。「きぬむすめ」が増加傾向となっている。</p>
広島		<p>【向こう1か月の天候の見通し 8月1日～8月31日】</p> <p>中国地方の向こう1か月の気温は高い見込み。降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。（気象庁広島地方気象台）</p> <p>【高温に関する早期天候情報】</p> <p>8月9日ごろからかなりの高温の可能性。</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 8月～10月】</p> <p>中国地方の向こう3か月の気温は高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。（気象庁広島地方気象台）</p> <p>【病害虫発生予察情報注意報】</p> <p>トビイロウンカ多い（広島県 7月30日）</p>	<p>「あきさかり」が増加傾向にある。</p>
愛媛	<p>・本年の早期水稲の出穂期は、やや早い～平年並みであった。向こう1か月の平均気温は、ほぼ平年並であり、成熟期については平年並と予想される。</p> <p>（平年の成熟期 4月20日移植）</p> <p>「あきたこまち」 9月9日頃</p> <p>「コシヒカリ」 8月14日頃</p> <p>（愛媛県 7月28日付）</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 8月1日～8月31日】</p> <p>四国地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量は平年並か少なく、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。（気象庁高松地方気象台）</p> <p>【高温に関する早期天候情報】</p> <p>8月9日ごろからかなりの高温の可能性。</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 8月～10月】</p> <p>四国地方の向こう3か月の気温は高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。（気象庁高松地方気象台）</p>	<p>「ヒノヒカリ」「コシヒカリ」「あきたこまち」「こまる」を中心とする品種構成に大きな変化はない。</p>
高知	<p>【早期稲 7月3日時点】</p> <p>・出穂期は、4月6日植えの「南国そだち」と「コシヒカリ」では平年並みで、4月14日植え「コシヒカリ」は平年よりやや早くなっていった。</p> <p>（生育）</p> <p>【普通期稲 7月3日時点】</p> <p>・草丈は平年より低く、茎数が多く、葉齢は平年並みで生育している。</p> <p>（高知県農業技術センター 7月8日付）</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 8月1日～8月31日】</p> <p>四国地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量は平年並か少なく、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。（気象庁高松地方気象台）</p> <p>【高温に関する早期天候情報】</p> <p>8月9日ごろからかなりの高温の可能性。</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 8月～10月】</p> <p>四国地方の向こう3か月の気温は高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。（気象庁高松地方気象台）</p>	<p>・早期栽培では「コシヒカリ」「ヒノヒカリ」を中心とする品種構成であるが、近年、高温登熟性に優れた「よさ恋美人」が増加傾向にある。「南国そだち」は減少傾向。</p> <p>・普通栽培では「こまる」が増加傾向にある。</p>
福岡	<p>【普通期水稲の生育概況】</p> <p>・6月10日移植「夢つくし」では、6月の気温が高く、日照時間も多かったため、草丈および茎数は平年並で、主稈数は0.8葉少なかった。6月19日移植は7月以降の低温、日照不足のため草丈が高く、茎数が少なかった。</p> <p>・「元気つくし」では、草丈は平年より14～15%長く、茎数は、平年より10～12%少なく、主稈数は0.6～0.9葉少なかった。</p> <p>（生育）</p> <p>・「ヒノヒカリ」では、草丈は9～11%長く、茎数は平年より15～22%少なく、主稈数は0.6～0.7葉少なかった。</p> <p>・「実りつくし」では、前5年と比べ、草丈は13%長く、茎数は9%少なく、主稈数は0.6葉少なかった。</p> <p>・6月10日移植「夢つくし」の出穂期は8月11日頃と予想される。</p> <p>（福岡県ほか 7月20日付）</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 8月1日～8月31日】</p> <p>九州北部地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。（気象庁福岡管区気象台）</p> <p>【高温に関する早期天候情報】</p> <p>8月9日ごろからかなりの高温の可能性。</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 8月～10月】</p> <p>九州北部地方の3か月の気温は高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。（気象庁福岡管区気象台）</p>	<p>「ヒノヒカリ」「夢つくし」「元気つくし」を中心とする品種構成であるが、「ヒノヒカリ」が減少傾向。「夢つくし」「元気つくし」が増加傾向となっている。なお、県では今後、新品種「実りつくし」の拡大を推奨している。</p>
熊本		<p>【向こう1か月の天候の見通し 8月1日～8月31日】</p> <p>九州北部地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。（気象庁福岡管区気象台）</p> <p>【高温に関する早期天候情報】</p> <p>8月9日ごろからかなりの高温の可能性。</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 8月～10月】</p> <p>九州北部地方の3か月の気温は高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。（気象庁福岡管区気象台）</p>	<p>「ヒノヒカリ」「森のくまさん」「コシヒカリ」を中心とする品種構成に、大きな変化はない。</p>
宮崎	<p>（生育・作柄）</p> <p>・全額数は平年並、登熟はやや不良、作柄はやや不良の見込み。（農林水産省 7月28日付）</p> <p>・（7月中旬）普通期水稲は分けつ期。（宮崎県病害虫防除・肥料検査センター 7月22日付）</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 8月1日～8月31日】</p> <p>九州南部地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量は平年並か少なく、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。（気象庁鹿児島地方気象台）</p> <p>【高温に関する早期天候情報】</p> <p>8月9日ごろからかなりの高温の可能性。</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 8月～10月】</p> <p>九州南部地方の向こう3か月の気温は高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。（気象庁鹿児島地方気象台）</p>	<p>「コシヒカリ」「ヒノヒカリ」を中心とする品種構成に大きな変化はない。「みずかき」への作付誘導が進められている。</p>
鹿児島	<p>（生育・作柄）</p> <p>・全額数はやや少ない、登熟は平年並、作柄はやや不良の見込み。（農林水産省 7月28日付）</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 8月1日～8月31日】</p> <p>九州南部地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量は平年並か少なく、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。（気象庁鹿児島地方気象台）</p> <p>【高温に関する早期天候情報】</p> <p>8月9日ごろからかなりの高温の可能性。</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 8月～10月】</p> <p>九州南部地方の向こう3か月の気温は高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。（気象庁鹿児島地方気象台）</p>	<p>「なつほのか」及び「あきほなみ」が増加傾向である。</p>

注1：国及び地方自治体、地方自治体の出先機関等がホームページで公表している資料を米穀機構情報部で取り纏め。
注2：令和2年8月4日17時時点での取り纏め。
注3：更新箇所は赤字で示した。

引用資料:

農作物の生育状況 8月1日現在(北海道 8月4日)、
農作物生育状況 8月11日現在(北海道空知総合振興局 8月4日)、
農作物生育状況 8月1日現在(北海道石狩振興局 8月4日)、
農作物の生育状況 8月1日現在(北海道後志総合振興局 8月4日)、
農作物の生育状況 8月1日現在(北海道胆振総合振興局 8月4日)、
農作物の生育状況 8月1日現在(北海道日高振興局 8月4日)、
農作物の生育状況 8月1日現在(北海道渡島総合振興局 8月4日)、
農作物の生育状況 8月1日現在(北海道檜山振興局 8月4日)、
農作物の生育状況 8月1日現在(北海道上川総合振興局 8月4日)、
農作物生育状況調査の概要 8月1日現在(北海道留萌振興局 8月4日)、
農作物の生育と農作業の進捗状況 8月1日現在(北海道オホーツク総合振興局 8月4日)、
水稲出穂状況(7月31日現在)(青森県 8月3日)、
令和2年度水稲生育定期調査結果No.6(7月27日現在)(岩手県農業研究センター 7月28日)、
令和2年度水稲の生育状況について(7月20日現在)(宮城県農政部みやぎ米推進課 7月21日)、
令和2年度仙南稲作情報(第6号)(大原農業改良普及センター 7月21日)、
仙台稲作情報2020(第7号)(宮城県仙台農業改良普及センター 7月21日)、
令和2年度美里地区の稲作情報第7号(宮城県美里農業改良普及センター 7月21日)、
令和2年度大崎稲作情報第4-2号(宮城県大崎農業改良普及センター 7月21日)、
栗原の稲作通信令和2年第6号(宮城県栗原農業改良普及センター 7月22日)、
稲作情報(vol.6)(宮城県石巻農業改良普及センター 7月22日付)、
令和2年度気仙沼・南三陸稲作情報第8号(宮城県気仙沼農業改良普及センターほか 7月22日)、
生育状況報告(秋田県ホームページ「こまちチャンネル」http://www.e-komachi.jp/ 8月3日)、
米づくり技術情報第10号(山形おいしき際立つ!米づくりプロジェクト本部 7月20日)、
雪が丸技術情報No.8(山形おいしき際立つ!米づくりプロジェクト本部ほか 7月20日)、
東なおきたま米づくり情報No.10(置賜農業技術普及課7月30日)、
酒田・飽海日本一米づくり情報第9号(酒田農業技術普及課 7月30日)、
北村山のおいしい米づくり情報稲作だより第9号(北村山農業技術普及課 7月22日)、
「こおりやまの米」通信 生育状況速報(7月14日現在)(郡山市農作物生産対策協議会 7月20日)、
農研速報(茨城県農業総合センター農業研究所作物研究室 7月22日)、
農研速報(茨城県農業総合センター農業研究所水田利用研究室 7月20日)、
令和2(2020)年度水稲生育診断予測事業速報No.5(栃木県 7月27日)、
水稲の生育と当面の対策第6報(千葉県 7月28日)、
水稲の生育と今後の管理対策(第8号)(新潟県 7月31日)、
稲作速報No.8(新潟農業普及指導センター 7月30日)、
新発田地域水稲生育速報No.8(新発田農業普及指導センター 7月31日)、
水稲生育速報No.8(巻農業普及指導センター 7月30日)、
FAX稲作情報No.11(三条農業普及指導センター 7月30日)、
水稲生育速報(長岡農業普及指導センター 7月30日)、
南魚沼産コシヒカリ生育速報 No.7(7/30調査)(南魚沼農業普及指導センター 7月30日)、
コシヒカリ生育情報(魚沼農業改良指導センター 7月30日)、
コシヒカリ・こしいぶき生育速報(7月30日)(上越農業普及指導センター)、
稲作管理情報第11号(柏崎農業普及指導センター 7月30日)、
令和2年度糸魚川売れる米づくりコシヒカリ生育情報No.7(糸魚川地域振興局 7月30日)、
令和2年度稲作生育速報No.7(佐渡農業普及指導センター 7月30日)、
十日町地域稲作生育速報(十日町農業普及指導センターほか 7月30日)、
R2岩船米生育速報(村上農業普及指導センター 7月30日)、
TACS情報第9号(富山県 7月20日)、
令和2年度水稲の生育状況と今後の対策(水稲生育診断技術確立調査-9号)(石川県農林総合研究センター 7月28日調査)、
稲作情報No.11(水田農業レベルアップ委員会技術普及部会 7月10日)、
令和2年度作物技術普及情報第9号(松本農業農村支援センター 7月22日)、
農業試験場水稲試験圃の生育状況(令和2年)(長野県農業試験場 7月20日)、
令和2年度水稲生育診断情報No.4(滋賀県農業技術振興センター 7月22日)、
令和2年度兵庫県農業気象技術情報No.4(8月情報)(兵庫県 8月4日)、
令和2年度病害虫発生予報第4号(岡山県病害虫防除所 7月2日)、
今月の天候と農作業(8月)(愛媛県 7月28日)、
令和2年度における早期水稲の生育状況(7月3日時点)(高知県農業技術センター 7月8日)、
福岡県米麦大豆生産改善速報第2号(福岡県ほか 7月20日)、
令和2年度病害虫発生予報第3号(宮崎県病害虫防除所・肥料検査センター 7月22日)、
令和2年度農作物有害動物発生予察情報注意報第4号(山形県病害虫防除所 7月22日)、
病害虫発生予察注意報第4号(茨城県病害虫防除所 7月31日)、
農作物病害虫発生予察注意報第2号(福井県農業試験場 7月27日)、
令和2年度病害虫発生予察注意報第4号(岡山県病害虫防除所 7月29日)、
令和2年度病害虫発生予察情報注意報第2号(広島県 7月30日)、

北海道地方こう1か月の天候の見通し(7月30日札幌管区気象台)、東北地方こう1か月の天候の見通し(7月30日仙台管区気象台)、関東甲信地方こう1か月の天候の見通し(7月30日気象庁)、
北陸地方こう1か月の天候の見通し(7月30日新潟地方気象台)、近畿地方こう1か月の天候の見通し(7月30日大阪管区気象台)、中国地方こう1か月の天候の見通し(7月30日広島地方気象台)、
四国地方こう1か月の天候の見通し(7月30日高松地方気象台)、九州北部地方こう1か月の天候の見通し(7月30日福岡管区気象台)、
九州南部・奄美地方こう1か月の天候の見通し(7月30日鹿児島地方気象台)、

北海道地方こう3か月の天候の見通し(7月22日札幌管区気象台)、東北地方こう3か月の天候の見通し(7月22日仙台管区気象台)、関東甲信地方こう3か月の天候の見通し(7月22日気象庁)、
北陸地方こう3か月の天候の見通し(7月22日新潟地方気象台)、近畿地方こう3か月の天候の見通し(7月22日大阪管区気象台)、中国地方こう3か月の天候の見通し(7月22日広島地方気象台)、
四国地方こう3か月の天候の見通し(7月22日高松地方気象台)、九州北部地方こう3か月の天候の見通し(7月22日福岡管区気象台)、
九州南部・奄美地方こう3か月の天候の見通し(7月22日鹿児島地方気象台)、

高温に関する早期天候情報(仙台管区気象台、気象庁、新潟地方気象台、大阪管区気象台、広島地方気象台、高松地方気象台、福岡管区気象台、鹿児島地方気象台 8月3日14時30分)、

令和2年度水稲の西南暖地における早期栽培等の作柄概況(7月15日現在)(農林水産省 7月28日)
令和2年度水稲の10a当たり平均収量に係る生産事情(都道府県別)(農林水産省 3月17日)